



北九州テクノサポート通信

Kitakyushu Techno-Support

北部九州地域の産業発展に貢献する



北九州 TS

NPO法人 北九州テクノサポート

〒804-0003北九州市戸畑区中原新町2番1号

TEL: 093-873-1453 FAX: 093-873-1453

E-Mail: npo-kts@npo-kts.org.jp URL: http://www.npo-kts.org/

Vol.23

平成26年 夏号

NPO法人 北九州テクノサポート 会長挨拶

石川 浩



昨年来、アベノミクス効果により日本経済は明るさを取り戻し確実に回復の道筋を歩みだしたと思います。一部の企業では久しぶりにベースアップ実施のニュースも報じられておりますが、地元中小企業にとりましては原油高・電力供給問題や近隣諸国との関係等々、厳しい状況が続いており、更なる精進、努力が必要であると感じております。

このような状況下で、我々北九州テクノサポートは中小企業の皆様のお役に立つ活動を積極的に生み出し、提案・展開して実効を上げて行く所存です。関係各位の皆様のご支援・ご協力をお願い申し上げます。

昨年は従来の「福岡ものづくりアドバイザー事業」に加えて北九州商工会議所様との連携を図りアドバイザー事業を開始しております。中小企業の皆様のご活用をお待ち致しております。

一昨年、北九州テクノサポートの法人化10周年を記念して、これからの新たな10年に向けた取組みについて、5つの課題が提起され、夫々の課題について推進中で御座いますが、その課題の一つである「知名度の向上と新規会員の勧誘強化」について一言申し上げたいと思います。昨年暮れから今年にかけて3名の新規入会者があり、その中に1名の女性入会者がおられます。これまで、正規会員としての女性の応募・入会は初めてであり、我々一同感謝しております。これから我々の仕事も女性の目線での対応が必要になってきておりますし、これを機会に女性の方々の入会を勧めたいと考えております。皆様方のご支援・ご協力をお願い申し上げます。

Topics.1 平成26年度 北九州テクノサポート総会を開催

平成26年6月25日(水)に北九州テクノセンターにおきまして、平成26年度総会(第12回)が開催されました。冒頭、石川会長の挨拶につづいて議長選出の後、次の3つの議案について報告、採択が行われ、すべて異議なく承されました。



NPO_KTS 会員・産学官有志一同

第1号議案(平成25年度事業報告)

第2号議案(平成26年度事業計画)

第3号議案(役員改選)

平成25年度事業報告

平成25年度はデフレからの脱却のためのアベノミクスによるさまざまな施策により円高是正・株価上昇等で景況に明るさを取り戻した感もあり、一部の企業では久方ぶりの賃金への反映が一部に期待される反面、消費税も絡みまだまだ地域社会や中小の産業界までは安心できる状況にはない。さらにこれまで安い労働力をベースに様々な分野への進出を果たしてきた近隣諸国は、その技術力のレベルアップが目覚ましく余談が許されない状況にある。且つ昨今の近隣両国との関係悪化も加わって、我が国の中小企業は、国際市場の競争力の低下が懸念されており革新的なもののづくりのさらなる精進と、官民挙げての取り組みが必要となっている。

この様な状況下で、NPO法人北九州テクノサポートは、「ものづくりの支援を通じて、産業振興に協力し、まちづくりに貢献する」を理念として、中小企業並びに行政機関や公的機関、大学・高専等との連携を密にして、夫々のニーズに即応した支援や協力・派遣・調査、研究会等を通じ、プロモーターとしての役割を果たし、日本経済再生に向けて微力ながら活動を展開してきた。(詳細2-3頁参照)

平成26年度事業計画

現下の情勢は、昨年来のアベノミクス効果によるデフレ脱却、景況回復が実感されつつも、実施に移った消費税8%、これに続くTPP移行、原発再稼働の+/-効果や近隣2国との軋轢が国内経済へ波及することも懸念される状況にある。ここ北九州ではこの数年来、従来の重厚長大産業の縮小・撤退等により、人口が毎年数千人減少するという市の衰退傾向を跳ね返すべく、新エネルギーや環境、バイオ、自動車等の未来型産業を誘致し、高付加価値ものづくりクラスターの形成や海外ビジネス拠点の形成など2年目を迎えた「北九州市新成長戦略」を着実に推進し、地域経済の活性化につなげようとしています。

この推進の一端を担う者として、我々NPO法人北九州テクノサポートは一昨年に創立から10年の節目を過ぎて12年目を迎えた本年も、引き続き、基本理念「ものづくりの支援を通じて産業振興を図り、まちづくりに貢献する」を踏襲し、各会員が、保有する豊かな知識、経験、目利き力、人脈等のシーズを糧として具体的かつスピード感を持って産業界や学界および行政・支援機関のニーズに対応してまいります。本年特に目指すところは、昨年度に引き続き、海外展開を見据えた北九州地域のネットワークと連携の強化、それに基づく産学官連携やビジネス・マッチング支援と来年予定されているISO規格(品質/環境マネジメントシステム)改正への対応である。

また、北九州市が標榜する地球環境保全の支援に力を注ぎ、北九州地域の一層の発展に貢献し、さらには、これらの活動を北九州地域に限らず、県下、近隣県へと広げた取り組みに進めていきたい。

役員紹介

平成25年7月1日現在

会長	石川 浩
事務局長	小林 敏郎
副会長	重藤 将美、安東 静 藤原 利久、山本 倅暉

各支援Gr.長

事業企画Gr.長	石川 浩
産学連携支援Gr.長	影山 隆雄
ISO・EA21支援Gr.長	松尾 民憲
環境技術支援Gr.長	藤原 利久
IT支援Gr.長	安東 静
販売支援Gr.長	山本 倅暉
広報支援Gr.長	重藤 将美
EA21事務局長	藤原 成種

理事

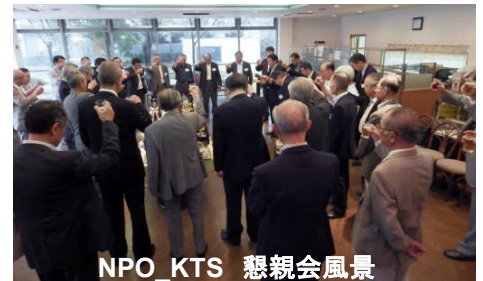
安東 静、石井 剛、石川 浩、影山隆雄
小林敏郎、重藤将美、堤 増美、藤崎正昭
藤原成種、藤原利久、松尾民憲、松隈 齊
山本倅暉、江副綾人

監事:磯村福義、小野晃一

平成26年6月25日の総会にて理事が選任された。



平成26年度 NPO_KTS総会風景



NPO_KTS 懇親会風景

Topics.2



代理者

来賓挨拶：福岡県商工部長 今村 修二 様

北九州テクノサポートの第12回通常総会が盛大に開催されますことを心よりお祝い申し上げます。

北九州テクノサポートにおかれましては、国内有数のものづくり拠点である北九州地域を中心に、「ものづくりの支援を通じて産業振興を図り、まちづくりに貢献する」との理念のもと、豊富な経験と知識・技術を有する先輩方の力を結集し、技術・経営や産学連携など様々な支援を通じて、本県産業の振興にご尽力いただいております。

石川会長をはじめ、会員の皆様に厚く御礼申し上げます。

北九州テクノサポートは、平成15年の開設以来、環境やものづくり分野を中心とした支援活動を強力に推進され、日刊工業新聞社主催の第1回「モノづくり連携大賞」特別賞を受賞されるなど数々の実績を残されてきました。平成21年からの「ビジネスマッチング支援事業」、さらには、23年から「福岡ものづくり産業振興会議」の「ものづくりアドバイザー」派遣事業など、常に県内中小企業が抱える技術課題の解決にご尽力され、大きな成果を上げられてきたところです。

さて、本県では今年度、中小企業に対する一貫した支援体制を強化するため、本年4月に商工部の本庁組織を再編いたしました。これまで以上に、技術開発、人材育成をはじめとした中小企業支援施策を強力に推進して参る所存でございますので、皆様方により一層のご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

結びに当たり、北九州テクノサポートの更なるご発展と、お集まりの皆様のご健勝、ご活躍を心から祈念いたしまして、お祝いの言葉とさせていただきます。

代理 福岡県商工部 中小企業技術振興課 課長 井本誠二 様

平成25年度 事業報告

平成25年度事業活動総括

NPO法人北九州テクノサポートは、「ものづくりの支援を通じて、産業振興に協力し、まちづくりに貢献する」を理念として、中小企業並びに行政機関や公的機関、大学・高専等との連携を密にして、それぞれのニーズに即応した支援や協力・派遣・調査、研究会等を通じ、プロモーターとしての役割を果たし、日本経済再生に向けて微力ながら、この1年間下記の様な活動を展開してきました。

■主要活動実績は以下の通り(詳細は3・4頁をご覧ください)

- ・福岡ものづくりアドバイザー事業へ協力支援
(福岡ものづくり産業振興会議)
- ・北九州地域産業人材育成に関する協力支援
(北九州地域産業人材育成フォーラム)
- ・北九州地域連携型インターンシップ支援事業
(同上)
- ・「中小企業テクノフェアin九州2013」販路開拓事業
(西日本産業貿易コンベンション協会)
- ・北九州商工会議所への入会、アドバイザー活動開始
(北九州商工会議所)
- ・平成25年度中小企業・小規模企業・商業・サービス革新事業に係る協力支援
(福岡県中小企業団体中央会)

・エコアクション21導入セミナー

(北九州市環境局環境モデル都市推進室、福岡県環境部環境保全課)

・エコアクション21実践講座 計4期実施 (同上)

・エコアクション21フォローアップセミナー

(エコアクション21九州・沖縄ブロック)

・楽々ミニゴルフゲームの市場調査を実施

((株)楽々サービス)

・広報誌(夏号/冬号)の発行

(県、市、FAIS、大学、KTS賛助会員企業)

・北九州ソーシャルビジネスメッセ(パネル展示)

(北九州ソーシャルビジネスメッセ実行委員会)



北九州地域のモノづくり企業の紹介

■北九州地域の産業発展を支える中堅・中小企業を紹介します。

■賛助会員の広報コーナー

<製品、技術、開発、人材などに関するPR-募集中>

NPO-KTS四季報Vol.23広告1-2



大光炉材は、ユーザーニーズへの迅速・確実なレスポンスをモットーに、独自の技術開発力を武器にダイナミックな展開をしています。

経営理念【社是】

私たちは、国家社会を支える重要な仕事をもつことを誇りとし、きびしい自己反省とたゆまぬ創造開発によって会社の発展と人間幸福の実現に努力します。

不定形耐火物



大光炉材株式会社

本社：〒804-0054 北九州市戸畑区牧山新町1-1
TEL: 093-871-1631(代) FAX: 093-883-2151
<http://www.taiko-ref.com>



株式会社 有菌製作所

当社は、「人生にやさしい」福祉・医療器具の総合メーカーです！

■当社は、障害児・者及び高齢者の必要とする義肢装具サービスの提供します。

代表取締役 有菌 央



〒805-8538 北九州市八幡東区東田1-7-5
TEL:(093) 661-1010/FAX:(093) 661-1670
<http://www.arizono.co.jp/>

Topics.3



来賓挨拶：北九州市 産業経済局 産業振興担当部長 石井 宏治 様

本日は、NPO法人北九州テクノサポート「第12回通常総会」にお招きいただき、誠にありがとうございます。

会員のみなさまには、「ものづくりの街」北九州市で培われた、技術・知識・経験を活かし、地域企業の技術支援はもとより、企業間のビジネスマッチングによる販売促進支援など多方面にわたり、本市の産業振興に大いに貢献いただいております。また、インターンシップ事業にも深く関わっていただき、明日の北九州市を担う、若い産業人材の育成についてもご支援いただいていると伺っております。

この場をお借りして、その活動に対し深く敬意を表しますとともに、心より感謝申し上げます。

さて、北九州市は昨年度から、新たな産業振興計画である「北九州市新成長戦略」に取り組んでおります。この計画期間にあたる3カ年の成果目標を「新たな雇用創出8千人」としております。

平成25年度におきましては、計画初年度ではありますが、成果目標の半数を上回る約4,600人の雇用を創出することができました。勿論、私どもの力だけでこれだけの数字を上げることはできません。北九州テクノサポート様をはじめ、関係のみなさまのご理解、ご協力のおかげでございます。

今年度におきましても、スピード感をもって新成長戦略に掲げる各プロジェクト推進を図りたいと考えておりますので、引き続きご理解とご協力をお願い申し上げます。

現在北九州市では、八幡製鐵所関連施設を含む「明治日本の産業革命遺産 九州・山口と関連地域」のユネスコ世界文化遺産への登録を目指す活動を推進するなど、次なる50年に向かって新たな1歩を踏み出したところでございます。これからも北九州市に「にぎわい」と「明るいニュース」があふれるよう、積極的に取り組んでまいります。

最後になりますが、NPO法人北九州テクノサポート様のますますの発展、並びに本日お集まりのみなさまのご健勝を心より祈念申し上げます。私からの祝辞とさせていただきます。

平成25年度 各支援グループの活動状況

1.産学連携関連の支援

- 1-1.北九州地域では中堅・中小企業の経営力強化とイノベーション力向上のための産業人材の育成が強く求められている。しかし、地域大学・高専卒業生の地元就職率の低迷や中堅・中小製造業における研究開発人材の不足という問題がある。この課題解決のため、平成23年、(公財)北九州活性化協議会が事務局となって「北九州地域産業人材育成フォーラム」を設立した。その中で、NPO法人KTSが「地域連携型インターンシップ事業」など北九州の産業人材育成の基盤固めの中核を担って活動を展開している。平成25年度は、このインターンシップの受入企業を幹旋・開拓するKTSのコーディネーターを前年度の5名から12名に増やして企業開拓支援活動を行った結果、研修受入登録企業数が80社に拡大し、学生数も164人に上った。
- 1-2.福岡ものづくりアドバイザー事業の登録アドバイザー14名のうち11名がKTSの会員であり、県内ものづくり企業の基盤技術・技能分野で指導経験のある会員が課題解決の支援をしており着々と成果が上がっている。平成25年度は、企業からの依頼に対して延べ30回派遣し指導助言を実施した。
- 1-3.九州大学大学院工学府の「ものづくり工学研究センター」より、社会人を対象とした製造中核人材育成プログラム(MOMコース)の企業への紹介と受講生募集並びにカリキュラムへの助言提案など、講座運営に関して協力支援を行った。(九州大学へ学術研究員を派遣)
- 1-4.中小企業庁が実施する中小企業・小規模事業者の競争力強化を支援し、経済活性化を実現する「平成24年度補正ものづくり中小企業・小規模事業者試作開発等支援補助金(2次公募)」や「平成25年度補正中小企業・小規模事業者ものづくり・商業・サービス革新事業(1次公募)」の申請書の審査業務を実施した。

2.環境技術関連の支援

- 2-1.(公財)西日本産業貿易コンベンション協会(以降協会という)主催の「中小企業テクノフェアin九州2013」へのビジネスマッチング(以降BMという)支援事業を5年連続で受託した。今年度は昨年度より3社多い40社(東京・北海道5社、福岡県16社、他九州19社、環境省エネ15社、機械金属8社等)が出演した。
- ビジネスマッチング活動**
- 2-2.販売支援Gr.等と共同でおこなう当活動は、多くの会員の参加と実績主体を目指した結果、初めての参加5名を含む過去最高の17名のコーディネーターによる活動となった。BM実績は、会員が事前に紹介し来場してもらった企業数は109社、これらの企業が展示企業と行った商談・面談件数は242件に上り、すべて過去最高であった。その成果は商談中も含めて129件、約1億円になる。(協会調査結果：H25/12月末) 課題は、更に出展社・協会・当KTSが出展社の売りをより効果的に来場者に伝え、商談の機会を拡大することで本テクノフェアの価値を高めることである。
- 北商と連携支援活動**
- 2-3.BM関連では北九州商工会議所(以降北商という)、銀行および経産局等によるフェアが多いが「ものづくり」へのBM拡大の可能性を調査した。
 - 2-4.北商と数年の協働の結果、KTSは北商の「ものづくり」アドバイザー制度の初めての団体として認定され10月には北商の団体会員となり、計43名の会員にアドバイザー登録をして頂いた。初年度は計9件のアドバイザー実施を行って支援の一端を担った。



北九州地域のモノづくり企業の紹介

■北九州地域の産業発展を支える中堅・中小企業を紹介します。

■賛助会員の広報コーナー

<製品、技術、開発、人材などに関するPR←募集中>
NPO-KTS四季報Vol.23広告3-4

カースル 株式会社
福岡県で一貫した生産管理で安心の品質をお届けします
家庭用・業務用フィルター製造販売
URL: <http://www.easle.co.jp>

■特殊フィルターの特性試験
平成26年3月に、ベッターナの集塵試験を一般財団法人カケンテストセンターに依頼したところ、PM0.1(0.1マイクロメートル)の超微小粒子の捕集効率が75.5%という試験結果が得られました。

代表取締役
渡邊 健司
Kenji Watanabe
〒800-0115
北九州市門司区新門司1丁目9-6
TEL:093-481-1212

PM2.5粒子状物質も捕集する
□ベッターナ フィルター
<http://www.easle.co.jp/campaign/pm01.html>

株式会社 神垣組
Kamigakigumi, inc.
神垣組(かみがきぐみ)は左官工事で、環境に配慮したモルタル・コンクリート製品の開発製造を行う会社です。

■私たちは、建築左官の伝統的技術と新素材の開発で、今後とも社会に貢献し、次世代にこの技術を残していきたいと考えます。

水辺の環境を浄化する
水草ポット
2000年・福岡産業デザイン賞優秀賞を受賞した。

水質浄化効果を持つ環境保全型
護岸ブロック、チャコケン
あさひ財団・日刊工業新聞社主催
第12回中小企業優秀新技術・新製品賞で、奨励賞を受賞した。

代表取締役 **神垣 三次**
〒819-0165 福岡市西区今津5413-10
TEL(092)806-6070 FAX(092)806-6070
<http://www.kamigakigumi.co.jp/>



来賓挨拶：公益財団法人 北九州産業学術推進機構 理事長 國武 豊喜 様

北九州産業学術推進機構中小企業・ベンチャー支援部の滝本でございます。

このたびは、特定非営利活動法人北九州テクノサポート第12回通常総会にお招きいただきありがとうございます。開催にあたり、一言ごあいさつを申し上げます。貴会におかれましては、設立以来、地域企業の支援や産学連携のコーディネート活動など幅広くご活躍され、北九州地域の産業振興に大いに貢献していただいております。また、日頃より「公益財団法人北九州産業学術推進機構(FAIS)」の事業に対して、ご理解・ご協力賜り、この場をお借りして厚くお礼申し上げます。

FAISでは、北九州市が平成25年2月に策定した「北九州市新成長戦略」の目標像であります「新たな技術と豊かな生活を創り出す アジアの先端産業都市」の実現に向けて、地域産業の知的基盤である学研都市を中心とした地域企業の技術開発とその事業化の支援、中小企業支援センターを中心とした中小企業の経営支援などに、取り組んでいます。

中でも、中小企業支援センターでは、「北九州市新成長戦略」に掲げられた5つの方向性のうち、特に「地域企業が元気に活動し続ける環境整備」の推進に向け、平成25年度は経営者等からの相談に947件対応するとともに、経営課題解決に向けて延べ46社に192回、専門家を派遣するなど、地域の中小企業・ベンチャー企業の支援拠点としての活動を行っています。今後さらに、地域企業の優れた製品や技術の販売支援、関東・関西圏での商談機会の提供、展示会でのPRなど、販売促進を進めていくとともに、きめ細かな創業支援を行い、地域企業のビジネスチャンスの拡大、ひいては地域経済の活性化につなげていきたいと考えています。

北九州テクノサポートの皆様には、企業OBとしての豊富な経験や技術、専門知識を生かして、私どもの活動への支援を含め、今後さらに大きな力をお貸ししていただきたいと思います。最後になりますが、特定非営利活動法人 北九州テクノサポートの皆様方の今後のさらなるご活躍と、貴会のみならずのご発展を祈念いたしまして、挨拶とさせていただきます。

代読 北九州産業学術推進機構 中小企業・ベンチャー支援部長 滝本豊樹 様

平成25年度 各支援グループの活動状況

3.ISO.EA21支援Gr.

ISO支援(コンサルティング)は、平成25年度実績として支援コンサル受注はなく、内部監査員養成講座への講師派遣のみであった。これは対象企業の業種が多様化傾向にあり、また認証登録後の活動が長い企業が多く活動レベルも高くなっている現状から、このビジネスに対する市場競争がますます熾烈化している実態にある。従って、支援活動の質の高さとコンサル料金の安さが受注獲得の条件とされ、今後の課題である。

3-1.EA21活動については、登録制度の社会的影響力(責任)が増大し、評価が厳格化している傾向にあるが、小規模企業の活動認識や社会的貢献など希薄な実態も現状である。然しながら、このような動向に耐えつつ地域事務局が中核となって、KTSに所属している審査人の協力を得ながら自治体イニシアチブプログラムなどを実施し、新規企業の獲得および審査による収入の確保など事業活動による信頼性と安定を継続している。

3-2.審査人の審査技術やコンサルティングのレベルアップを目指した相互研鑽の一環として、1泊2日の合宿を含めた研修会を2回実施した。更に、EA21のPR活動のために定期発行の「エコアクション21だより(KTS通信瓦版)」の8号を発行し、及び認証取得事業者の中から「環境にやさしい事業者」として北九州市長感謝状授与された事業者の紹介や、EA21の認知度の向上・普及のための情報、および認証登録事業者の活動紹介などを掲載した。

4.販売支援Gr.

4-1.「OB人材を活用したブラッシュアップサポート事業」の一環として、(株)楽々サービスの室内ゲーム機「楽々ミニゴルフ・ゲーム」他3点のゲーム機の販路開拓をKTS会員に呼びかけ、10月下旬から活動したが、可能性のある感触は得られたものの実績は無かった。

4-2.西日本産業貿易コンベンション協会の「中小企業テクノフェアin九州2013」ビジネスマッチング支援事業を環境支援Gr.と協同で受託・活動した。この事業は年々出展企業も増加し協会からの支援事業費も増額され、当会員へコーディネーターとしての応募を広く呼びかけた結果、参画者数も増加し、それに伴って来場者数や商談成立など本年もよい成果を上げることができた。



展示会場の風景

5.IT支援Gr.

主に中小企業を対象としたIT支援事業を推進・活動した。インターネットによる広報事業及びKTS内ITシステム管理は従来どおり推進した。

6. 広報支援Gr.

NPO法人北九州テクノサポートの目的及び組織、事業のPR・広報について平成19年夏から全面的にリニューアルした「北九州テクノサポート通信」の内容充実と賛助会員並びに広告会員の獲得に重点を置き活動した。

6-1.会報「北九州テクノサポート通信」(年2回発行)の紙面刷新と広告支援企業の広告デザインを一新し、配布の迅速化を図りバックナンバーを全てホームページに公開した。

6-2.各活動の展開や機会を活用し知名度アップのため大手企業のトップの新春放談を掲載した。また、昨年第11回総会で「激化する国際競争に打勝つ中小企業の戦略」～超精密加工技術を生かした医療分野への進出～という演題で特別講演をしていただいた(株)ワークス代表取締役三重野計滋様の記事を掲載した。

6-3.「中小企業テクノフェアin九州2013」展示ブースを開設。H24.10.16-18

6-4.北九州ソーシャルビジネスメッセに参加した。H26.2.9



KTS展示ブース

北九州地域のモノづくり企業の紹介

■北九州地域の産業発展を支える中堅・中小企業を紹介します。

■賛助会員の広報コーナー

<製品、技術、開発、人材などに関するPR-募集中>

NPO-KTS四季報Vol.23広告5-6



エコアクション21
認証・登録番号
0008225



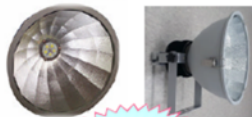
限りある資源を未来に 地球環境に貢献

株式会社コーセイジャパン

LCC(ライフサイクルコスト)の優れた省エネ!

(新商品)
高効率LED投光器

当社はLED照明の開発メーカーです。
照明の明るさを落さず50%~90%の省エネができる商品を取り揃えております。
低コストで長寿命(3年保証付)の安心省エネ!



最大90%
省エネ!

〒800-0313 福岡県京都郡苅田町磯浜町1丁目16-9

TEL:093-436-6136 FAX:093-436-6141

<http://kosei-jp.cdx.jp/>



株式会社西井塗料産業
NISHI PAINT INDUSTRY CO.,LTD.

<http://www.nishii.co.jp/>

価値ある提案を通じて

産業の発展と生活文化の向上に貢献

〒812-0007

福岡市博多区東比恵3丁目4番6号

お問い合わせ ご質問・ご相談はお気軽にお寄せください
092-415-4518 eigybu-bu@nishii.co.jp

特別講演会

演題1:「ものづくり中小企業に対する福岡県の技術振興支援施策について」

講演者: 福岡県商工部 中小企業技術振興課 課長 井本 誠二 様



1. 福岡県商工部の組織再編について<配布資料の「福岡県商工部の本庁組織が変わりました」参照>

福岡県では、本県経済を取り巻く環境の変化に的確に対応し、商工行政のより一体的、効率的な推進に向け、本年4月に商工部の組織再編を実施。

■今回の組織再編の観点は次の3点です

(1) 中小企業支援体制の強化 (2) 新たな成長産業の育成体制の強化 (3) 観光と物産の振興体制の強化

上記(1)「中小企業支援体制の強化」の概要

厳しい経済環境に置かれている中小企業の成長・発展を促すためには、これまで実施してきた施策の連携をさらに強化し、効率的で一貫した中小企業支援体制の構築が必要です。

このため、経営改善事業を所管する「中小企業振興課」に金融業務を移管し、経営と金融の一体的支援を強化。併せて、経営革新、農商工連携、海外展開等、新たな事業に挑戦する中小企業への支援業務を集約・統合した「新事業展開支援室」を、中小企業振興課の課内室として設置しました。

また、県内ものづくり企業の技術力高度化を推進するため、製品・技術開発支援及び人材育成支援を一体的・効果的に推進する「中小企業技術振興課」を設置。

その他、新産業の育成・集積を着実かつ強力に推進する「新産業振興課」や、観光振興と物産振興の業務を集約した「観光・物産振興課」の設置など、7つの課と3つの課内室に組織再編を行ったところです。

2. 技術振興支援施策のご紹介<配布資料の「ものづくり中小企業に対する技術開発支援」参照>

資料に基づき、工業技術センターやリサーチ・コア等の技術開発支援機関を紹介。

【中小企業技術振興課の個別事業の紹介】(以下配布資料より説明)

「中小企業技術振興課」では、「中小企業の技術高度化支援」と「ものづくり人材の育成」を2本柱とし、県工業技術センターや産業支援機関等と協力して、中小企業の技術開発・製品開発の支援、ものづくり中小企業への補助事業、中小企業の技術者・技能者を対象としたものづくり人材育成事業等を実施。各配布資料に基づいて紹介。

① 「福岡県ものづくり補助金」について

「福岡県ものづくり中小企業新製品開発支援補助金募集案内」の説明。

② 「人材育成事業」について

「グリーンイノベーション 人材育成・雇用創造プロジェクト」の説明。

③ 「ふくおか食品開発支援センター」について

「ふくおか食品開発支援センターの概要」に沿って説明。

④ 【その他】「特許の活用」について

「知財で拓く!あなたの事業」及び「特許を使って、活かしてみませんか?」に沿って、知財総合支援窓口等について説明。



【結び】福岡県商工部は一丸となって、中小企業の皆様を強力にご支援させていただき所存です。県の機関や事業をぜひ積極的にご利用されるようお願いいたします。まずは、お気軽にご相談ください。

7. エコアクション21地域事務局 福岡

7-1.北九州市実践講座及び福岡県集合コンサルティングを2回開催した。あわせて導入セミナーを2回開催した。

7-2.事業者からの審査申し込みを受け、審査人を選任、審査結果に対し判定委員会を開催審議し、審議結果を中央事務局宛報告・対応した。

7-3.エコアクション21認証取得事業者フォローアップセミナーを4回開催した。(うち北九市、佐賀県は主催、他は共催)

7-4.エコアクション21認証登録事業者のうち、北九州市長から「環境にやさしい事業所」として感謝状を授与する事業者を選考し、3事業者を市へ上申した。

北九州地域のモノづくり企業の紹介

■北九州地域の産業発展を支える中堅・中小企業を紹介します。

■賛助会員の広報コーナー

<製品、技術、開発、人材などに関するPR-募集中>

NPO-KTS四季報Vol.23広告7-8

株式会社 **メタルテック**
金属製品・外装パネル・ルーバー
光触媒工事・親水・防汚機能塗装工事
福祉施設・病院工事・防音手摺工事・防カビ工事

光が当たらなくても、親水性発揮!!

雨が降るだけで汚れが落ちる
金属製防汚パネル

メタルウエットパネル
Metal Wet Panel

〒810-0012福岡市中央区白金1-9-3
Tel:092-523-1513 Fax:092-523-1532 URL <http://www.metaltech.jp/>
E-mail:metaltech@poplar.ocn.ne.jp

おかげさまで
生誕100年
CHIGUSA 2014

“2014年に生誕100周年を迎えます”

千草ホテル
Chigusa Hotel

北九州市八幡東区西本町1-1-1
TEL093-671-1131
<http://www.chigusa.co.jp>

特別講演会

演題2:「人づくり・価値づくり地域クラスター」の形成に向けて」

—北九州地域産業人材育成フォーラムが目指すもの—

講師:公益財団法人 北九州活性化協議会 専務理事 山崎 稜 様



1. はじめに

今、私たちが街づくりを考えるときに踏まえないといけない基本認識が二つある。一つは、あらゆる分野でパラダイムチェンジが起こっているということ。3. 11の影響も大きいですが、生活価値観と社会の運営システムが変わりかけている。もう一つは、経済・社会のグローバル化の進展で、「都市」と「企業」の経営が、遊離し始めている。空洞化という現象は、企業と都市との「幸せな予定調和」の崩壊を意味している。企業の成長と都市の成長の逆比例関係を修復して、成長のベクトルを合わせていくことが重要なポイントとなる。

2. 北九州活性化協議会(KPEC)の役割

KPECは、「煙の街」から「全米一の住み良いまち」になったピッツバーグのアルゲニー地域開発協議会(ACCD)をモデルに平成元年に設立した。100年余の産業史を持つ北九州には企業、市民がまちづくりについて自ら責任を持つ文化が根付いており、これからの時代の街づくりの仕組みを四半世紀も前に先取りしてKPECを創っていた。

現在は、かつてのようにパワーリーダーや行政がリードする時代から、企業も含めて「責任ある個人」が社会的責任を持って、連携して社会の仕組みをつくっていくことが必要な時代になった。これまでにない創造性を発揮し一体となって連携するような社会づくりが必要となっているが、それをどこからやっていくのか、技術立国日本の再構築をどこから始めるのかも重要な課題である。自治力を持つ都市は国づくりの現場であり、戦略単位となって新しい課題解決の仕組みづくり、つまり新しいソーシャルキャピタルを創発していくことが求められている。そして、それを円滑に進めるための新しい都市機能(中間管理機能)が必要になってくる。KPECは、新しいソーシャルキャピタルづくりのコーディネーターであり、ドゥ・タンクとしての役割を果たしていきたいと考えている。KPECが連携軸となって進めている事業が4つあるが、そのうちの一つが「北九州地域産業人材育成フォーラム」である。

3. 北九州地域産業人材育成フォーラムの概要と目指すもの

産業人材育成フォーラムの創設は、「20年後の北九州の産業・経済は、そして都市は大丈夫なのか?」という問いから始まった。目指すべき20年後の北九州は、「培われた多様な産業技術を継承しつつ、これからの世代の人々にも誇られて精神的にも物質的にも豊かさを持ち続ける存在感ある地域でなければならない。その実現のためには、都市の産業基盤である中堅・中小企業の経営力強化のための産業人材の持続的な育成システムづくりを地域一丸となって行う必要がある」というKPEC産学連携研究会の結論を踏まえてフォーラム事業の基本設計を行った。その方向は、産業人材育成に関係する大学、企業、行政、研究者等のステークホルダーが、自立的に連携し、協働して「産学連携による産業人材育成の地域クラスター」を創ることを目指している。

産業人材については、大学の人材教育と企業の求める人材とのミスマッチをはじめ、社会人のリカレント教育や青少年の早期工学教育等にも多くの課題を抱えており、国や経済団体も最重要課題として挙げている。

北九州には、製鉄などをトップとして高度な技術を持つ企業、多様な分野の中堅・中小企業が山脈をなしており、その裾野に多様な技術と人材と思想が蓄積している。加えて智の溶鉱炉を標榜する学研や大学等の研究、教育機関が集積している。

もしかしたら、北九州市は、産業人材の育成という技術立国の基本条件にかかる課題を具体的に解決していくことのできる我が国で唯一の都市ではないかと思う。

産業人材育成フォーラムのミッションは、こうした環境を活かして、この北九州を、ものづくりから人づくり、そして価値づくりのまちに変身させ、北九州の確かな未来づくりの基盤を創ることである。

フォーラムの事業構成は、①高度人材育成プログラム(学生)、②社会人育成プログラム(社会人技術者)、③青少年育成プログラム(青少年)と、④地域基盤構築プログラムで構成し、それぞれ、産学官協働の推進組織が事業を運営している。

フォーラムは、①中堅・中小企業が利用できる仕組みをつくる、②企業の具体的なニーズを反映する仕組みをつくる、③現行のシステムを改善し地域に広げる、④産学双方のニーズと機能の“すり合わせ”を行う。⑤産学官連携による産業人材育成の地域クラスターを創る、という事をポリシーとして、フィジビリティを確認しながら段階的に事業を進めることにしている。



4. 最後に

日本工学会の柘植会長は、「“活きた産学官(公)連携”を实践する北九州地域産業人材育成フォーラムの活動は、教育・研究・イノベーションの一体的推進の場としてのロールモデルである」と言って頂いている。

今後に向けては、企業と大学が相互連携して一つの教育環境をつくっていく「北九州型産学協働教育」の方向を探っていきたい。そして、「人づくり、価値づくりのまち」が北九州市のシティアイデンティティになることを期待している。

■平成26年度 各支援Gr.の実施計画は次のとおり。

1.産学連携支援Gr.

地域の中小企業ニーズにマッチした産学官連携活動支援事業を展開する。

1-1.企業の技術ニーズに基づき大学・公設試験研究機関のシーズ調査・探索を行うと共に必要に応じて新たな研究開発の企画への支援を推進する。

1-2.競争力ある企業、成長力ある産業、活力ある地域を目指して北九州地域が持続的な発展を続けていくため、大学界と産業界、教育分野と地域社会が支え合いながら「産業人材育成の推進とその育成システムの構築」を図る『北九州地域産業人材育成フォーラム』への積極的な支援を行う。

1-3.TLO案件等の技術紹介・普及活動を通じてシーズの企業化・事業化の実現を目指した活動支援を推進する。(補助金申請業務への支援も含む)

2.環境技術支援Gr.

2-1.昨年に引続き6年連続となるビジネスマッチング支援事業：(公財)西日本産業貿易コンベンション協会主催「中小企業テクノフェアin九州2014」出展企業の製品を北九州地域の企業に紹介し焦点を絞った効果ある ビジネスマッチングを行う。(販売支援Gr.等との協業)

2-2.ビジネスマッチングについては新たな活動を始動したい。5年にわたる支援活動で、昨年は最高となった「中小企業テクノフェアin九州2013」での支援実績を生かし、北九州商工会議所や銀行等が主催する北九州地域中小企業のものづくりのビジネスマッチングニーズ発掘に挑戦したい。また、福岡のものづくりアドバイザー制度やインターンシップ受入企業開拓、更には開発助成金申請支援など他の支援Gr.と総合的な連携をして、活動の輪を盛り上げたい。(産学連携支援Gr.との協業)

2-3.北九州商工会議所のアドバイザー制度の実績を拡大し、当法人KTSの更なる活性化に貢献し、また将来への一層の基盤強化を図りたい。既に今年度の活動も活発である。

2-4.環境については、KICS・北九州市と協働して中小企業のみならず会員企業の最大の課題である【儲かる環境、海外展開】への支援の可能性を模索する。さらには、環境省のNPO活動認定機関の取得を目指したい。また、環境関連のみならず認証取得事業者が抱えている技術的あるいは販売・購買等を含む経営的な課題についても支援の手を差し向けることができるようにしたい。(EA21支援Gr.との連携)

3.ISO・EA21支援Gr.

環境問題は、地球規模的に、また国策に於いても重要な課題であり、行政官庁と協調した取り組みが求められている。そこでNPO法人事業を基盤としている支援組織であることを念頭に“地場企業に役立つISO活動への有為的な支援、およびEA21活動の導入普及・有効な審査を通じて、NPO法人北九州テクノサポートの健全な発展に貢献する”を事業の取り組みとして、EA21地域事務局福岡と連携する中で支援Gr.事業の円滑な具現化を目指すために、事業の安定化と継続性が堅持できることが条件となり質の高い活動展開を実施する。

3-1.ISOマネジメントシステム(品質・環境)規格の改正に伴い、理解度促進と併せた内部監査員の養成、およびISOマネジメントシステムの協調(品質・環境)に対応したシステム運用と継続維持に関するコンサルティングについて、支援活動の質の高さと最適な料金とする必然性からニーズ情報の収集、単価・工数・内容を見直すなど対応策を立て確実な受注につなげる。

3-2.「EA21地域事務局福岡」が主催するエコアクション21実践講座、認証取得支援、および業界団体等と連携した普及活動を活発に行うとともに、審査人の相互研鑽等による審査技術、およびコンサルティングに対する個々の力量向上を目指した実務研修を企画・推進する。

4.IT支援Gr.

主に中小企業に提供できるIT支援事業を抽出し、個別の中小企業への活動に加え、工業団地等へのIT支援事業を展開する。

4-1.Excelを活用した業務改善支援等のIT課題の発掘・解決を推進。

4-2.ホームページ作成支援事業を推進する。

4-3.NPO・KTSの発展には、インターネットを含むITを活用したネットワークの構築、当NPO・KTSのホームページの充実・PRが今後も必要不可欠であり、本年度もIT支援部会が推進すべき重要課題として推進する。



北九州地域のモノづくり企業の紹介

■北九州地域の産業発展を支える中堅・中小企業を紹介します。

■賛助会員の広報コーナー

<製品、技術、開発、人材などに関するPR←募集中>

NPO-KTS四季報Vol.23広告9-10



すなおに謙虚に無限の未来をひらいていこう
株式会社 豊洋製作所



水栓金具部品



医療機器部品

水栓金具部品及び医療機器部品の開発・製造にISOマネジメントシステムを適用した仕組みを実現し、環境改善にISO14001を運用・活用

◆代表者 取締役社長 小原 悟
◆本社・工場：福岡県京都郡埴田町鳥越町1-44
TEL 093-436-5200
FAX 093-436-5207
http://www.hoyo-s.co.jp



高性能・高機能 新波浪予測情報提供システム



国土交通省「NETIS」登録商品
【登録番号 QSK-140001】



専用解析システム
「羅針盤」専用の予測解析システムを開発!
1kmメッシュ毎に、最長10先まで
素早く的確に予測!

観測地点登録
最大20地点登録!
地点登録も簡単。スピーディーに!
登録した地点の予測は
画くにご覧いただけます!

充実した印刷機能
鮮明な予測の印刷画面を
いつでも自由にご覧いただけます!

気象庁予報業務許可 第51号



北九州市小倉南区徳力新町2丁目8番11号
TEL(093)965-1033 FAX(093)965-1055
E-mail:info@sysmet.co.jp
URL:http://www.sysmet.co.jp

平成26年度 事業計画

■平成26年度 各支援Gr.の実施計画は次のとおり。

5.販売支援Gr.

北九州地域の中小企業が開発した独創的で新規性に富み、特に中小企業庁が支援している環境・エネルギー、健康・医療、航空・宇宙の成長分野の製品について、KTS会員の豊富な人脈と技術力を活用して北九州地域を中心に全国から海外にも販路開拓・拡販の支援をすると共に必要に応じて製品改良の提案をし、依頼先や関係機関と連携して地域産業を活性化させる。

5-1.「OB人材を活用したブラッシュアップサポート事業」の一環として、(株)楽々サービスの室内ゲーム機「楽々ミニゴルフ・ゲーム」その他ゲーム機3点を北九州市内ディサービス、老人ホーム、幼稚園等へ拡販事業を行う。

5-2.(株)リョーワの「画像処理検査装置」を北九州地区を中心に自動車・半導体業界その他企業を対象に品質向上を目標に販路開拓事業を推進する。

5-3.(財)西日本産業貿易コンベンション協会の「中小企業テクノフェアin九州2014」ビジネスマッチング支援事業を昨年に引き続き受託し、展示企業の製品を北九州地域の企業に紹介し販売支援を行う。

6. 広報支援Gr.

6-1.NPO法人北九州テクノサポートの認知度を高めるための広報誌「NPO法人北九州テクノサポート通信」を年2回作成。また、今年度はKTS発足12年目で初心に帰り自治体等の各機関、業界団体、組合、企業等への広報活動を展開する。

6-2.広報活動については、我々の活動や情報を顧客へ伝えるようにNPO法人北九州テクノサポートの案内パンフレットを自治体等の各機関、業界団体、組合、企業等への広報活動を展開するとともに、活動をさらに広く展開するため、65才過ぎの方々へKTSへの入会を呼びかけるガイダンスとする。

6-3.また、情報交換の場としてホームページの充実をはかるとともに「NPO法人北九州テクノサポート通信」を有効に活用して頂けるように、見やすく且つお役立ち情報など内容の充実を図りたい。

■江副 経人 新理事紹介



現在 北九州地区の産業の業態は過去に比べ大きく変化していると思います。只、大きな人的経験財産が残されており、この財産を地元企業活性化の為に、生かしていきたいと思っております。

7. EA21地域事務局福岡

7-1.北九州市実践講座及び福岡県集合コンサルティングを2回開催する。あわせて導入セミナーを2回開催する。

7-2.認証・登録業務を円滑に推進する。

7-3.エコアクション21認証取得事業者フォローアップセミナーを開催する。

7-4.エコアクション21認証登録事業者の中から北九州市長より感謝状を授与して頂く事業者を選考し、推薦する。

■組織及び運営

Gr.組織は現行体制を継続し、運営にあたっては、Gr.組織にとらわれず臨機応変に対処する。正会員については、企業をリタイアされ、本会理念に賛同して活動を希望される方々を積極的に受け入れ、活動の輪を広げていく。

創立から10周年を機に、次の行動指針を設けて取り組み2年目を迎えたが、引き続きこれを踏襲してKTSの新たな発展を期す。

- (1) 受け身からの脱却
- (2) 中小企業への直接支援の拡充
- (3) 知名度向上と新規会員獲得
- (4) 支援業務フローとネットワークの構築
- (5) EA21登録企業数の拡大

---ご利用ください、KTSの支援事業---

A. ものづくり補助金」申請書の作成支援

公的補助金の申請書作成には募集機関の審査ポイントがあり、第三者の専門家に精査して頂くことで採択率が飛躍的に向上します。

B. ものづくり企業のビジネスマッチング支援

BMは川上・川下企業と支援者の3人4脚が重要です。様々な専門分野を有するテクノサポートのサポートは有効です。

C. 生産現場における合理化 改善提案支援

合理化・改善提案は、日々の生産指示が正確に行えるようになると共に、在庫量の不足が簡単に把握できるようになり、納期遅れを格段に少なくすることができました。

D. 中小企業における新製品開発支援

技術者教育を始めて4か月目に新製品の性能が市場ニーズを満たすレベルまで向上、それから3か月後に販売できた。現状では、国内だけでなく海外にも販売でき、A社の主力製品になっている。

■連絡先 NPO KTS TEL/FAX 093-873-1453

北九州地域のモノづくり企業の紹介

■北九州地域の産業発展を支える中堅・中小企業を紹介します。

■広告会員の広報コーナー

<製品、技術、開発、人材などに関するPR←募集中>
NPO-KTS四季報Vol.23広告11-12

Matsushima
Matsushima Measure Tech



株式会社 マツシマ メジャテック

〒807-0837 北九州市八幡西区則松東一丁目8番18号
TEL 093-691-3731 FAX 093-691-3735
URL <http://www.matsushima-m-tech.com>
E-Mail sales@matsushima-m-tech.com

自動車用ボディ関係の板金プレス金型設計・製作で
世界をリードする金型専門メーカー



Uchida Co., Ltd.
株式会社 ウチダ

代表取締役社長 内田 末男

九州工場 〒823-0011 福岡県宮若市宮田542-38
TEL (0949)33-3145 FAX (0949)33-3146
本 社 〒574-0055 大阪府大東市新田本町12-6
TEL (072)874-3377 FAX (072)874-3839
E-mail: info@uchidanet.co.jp
U R L : <http://www.uchidanet.co.jp>



■地域連携型インターンシップ受入れ企業開拓

本事業も4年目を迎え、インターンシップにエントリーする学生が大幅に増加することを想定し、受入企業開拓は短期集中型(4~6月)で実施しスタートした。

コーディネーター(KTS会員)も11名体制で北九州市周辺までエリアを拡大し200社の企業を訪問し受入れ企業開拓を推進し、既にインターンシップ受入れ企業98社が登録され、5校の学生に情報が公開されており準備が着々と進んでいる。

☑5月28日には、ひびきの北九大キャンパスに於いて3校の学生49名に対し、企業7社、KTS8名で「インターンシップ・ミーティング」が実施された。



北九大ひびきのキャンパス

☑6月14日には、九工大戸畑キャンパスに於いて2校の学生93名に対し、企業14社、KTS10名で「インターンシップ・ミーティング」が実施された。



九工大戸畑キャンパス

各業種別グループに別れて学生と参加企業担当者との相談会、自由討議、意見交換等が行われた。(重藤)

■北九州地域産業人材育成フォーラム

H26年度第1回推進会議・第1回企画部会合同会議が6月18日開催され平成25年度事業報告・収支決算が行われた。また、H26年度事業の推進状況(①高度人材育成P ②社会人育成P ③MBA活用P ④青少年育成P)等の報告がなされた。



推進会議・企画部会合同会

■北商と協働で「ものづくり中小企業支援活動」を開始

北九州市商工会議所と協働で「ものづくり中小企業支援活動」の2年目を開始した。平成25年度補正「中小企業・小規模事業者ものづくり・商業・サービス革新事業」に関する申請書の書き方指導、並びに企業内の生産性向上、新製品の試作・開発等のアドバイザー支援が順調に推進されおり既に10件程度になり、補助金認定を受けた企業3社もいます。

今後とも北商と協力し中小企業支援による北九州の活性化に努力するとともに「ものづくり中小企業支援地域」を広げたい。

(藤原・重藤・松隈・山本)

■「ものづくり中小企業試作・開発補助金」の審査協力

昨年度は平成24年度補正「ものづくり中小企業・小規模事業者試作開発等支援補助金」申請書の技術面審査の依頼として1次公募・一次応募は3月20日から4月9日に83社を審査、1次公募・二次応募は4月22日から4月30日に192社を審査、2次公募は7月19日から29日に170社を審査する依頼が福岡県中小企業団体中央会からあり、北九州テクノサポートから8名の審査員が参画して協力した。

今年度は平成25年度補正「中小企業・小規模事業者ものづくり・商業・サービス革新事業補助金」申請書の技術・事業化面審査の依頼として第1次公募一次募集は3月20日から4月2日に76社を審査、1次公募二次募集は5月20日から30日に112社を審査、2次公募は現在募集中で8月11日に締切りなので8月20日頃から審査が始まる予定で、今年度は12名の会員が協力している。

本補助金審査事業を通じて、福岡県内の元気な中小企業やその開発課題について確認できたことと申請書作成のポイントを充分把握したので、既に補助金申請書作成サポートやものづくり支援を行なっている人を含めて、今後さらに中小企業の新製品開発・共同研究・補助金申請・ものづくり等の実質的な支援を推進していきます。(山本)

■「中小企業テクノフェアin九州2014」(コンベンション協会)ビジネスマッチング支援

本年も2009年以来6年連続の「中小企業テクノフェアin九州2014(10月16日~18日)」のビジネスマッチング(BM)支援事業を(公財)西日本産業貿易コンベンション協会より受注しました。「エコテクノ展」、「再生可能エネルギー先端技術展」と同時開催する大展示会です。BMの実績をさらに高める必要があります。今年の特長は、世話人で相談した実績重視の効率的運営です。

出展企業の説明会開催によるコーディネーターの売り理解の強化、来場企業・BM実績重視、成果配分及び世話人の分担制を採用したことです。

☐6月11日のキックオフミーティングでは、新規5名を含め16名のコーディネーターが参画し、北九州テクノサポートとしてBM支援事業の実力発揮と成果が強く期待されます。



キックオフミーティング

(藤原・山本・松隈・吉開・江副)

北九州地域のモノづくり企業の紹介

■北九州地域の産業発展を支える中堅・中小企業を紹介します。

■広告会員の広報コーナー

<製品、技術、開発、人材などに関するPR←募集中>
NPO-KTS四季報Vol.23広告13-14

微美 創造企業
MEMS SOLUTION 【事業：超精密金型部品の製造】



我社は、「超精密」にこだわり、お客様に喜んで頂ける製品を、常に作り続けることを経営の柱にしています。「どうしたら、急速に変化する市場ニーズに対応できるのか?」思考を繰り返し、知恵を出し、現状の枠にとらわれない広い視野で、夢のある物作りを実現して行きたいと考えております。これからも「お客様の喜び=我社の喜び」を追い続けていきます。



株式会社ワークス

代表取締役 三重野計滋(みえの けいじ)

〒811-4321 福岡県遠賀郡遠賀町大字虫生津1445 Tel:093-291-1778 Fax:093-291-2728
E-mail:info@wks.co.com http://www.wks.co.com



ミーム
(未夢)



道路トンネル検査点検専用車両



計測検査株式会社

北九州市八幡西区陣原1-8-3

TEL:093(642)8231

FAX:093(641)2010

http://www.keisokukensa.co.jp

株式会社 マツシマメジャテック

平成26年7月11日に影山理事と重藤理事が同社の本社工場を訪問、松島社長から今年4月の社名変更を機にさらなる飛躍を目指す今後の経営方針等のお話を伺いました。

■会社の沿革と今回の社名変更の狙い

昭和21年1月に、創業者・松島秀雄氏が、機械技術で世の中の合理化に貢献することを目指して起業し、その社名を「松島機械研究所」と定めて以来68年目を迎える今年の春に、社名を「マツシマメジャテック」に変更しました。この社名変更の背景には、近年の同社は、機械製品の占める割合よりも、電子機器による計測分野の製品が大きく、現在の開発主体も電子機器が多くなっていることに加えて、海外のお客様に業務内容を的確にご理解いただける社名への要請が強かったことがあります。

さらに真の社名変更の意義は、『社内体制の大きな変革』にあることです。これは、機械技術や電子・電機の技術にソフトウェアのテクニックなど同社が有する力を総動員して困難な計測に挑戦を続けてゆく集団への変革です。

■今後の展開

平成24年に完全国産化に成功した26GHzマイクロ波レベル計が、主力商品に育ってきている。自主開発したことにより、海外販売が可能になり、東南アジア市場だけでなく、昨年末には米国メーカーとのOEM契約締結など海外売上も順調に展開しているため、平成29年3月期の海外売上比率を50%に引き上げる。分野では、今後の伸びが期待される粉体計測に注力する。

海外展開に当たっての課題は、電波干渉などの規制が国や地域によって大きく異なることへの対応である。

■KTSへの期待 KTSは、中小企業にとって駆け込み寺であり、多様な課題に応えられる存在として頼りにしています。



◇会社概要

- 本社：北九州市八幡西区則松東1丁目8-18 〒807-0837
TEL:093-691-3731 FAX:093-691-3735
- 代表者：代表取締役社長 松島 徹
- 創立：1946年4月23日
- 資本金：3,500万円
- 従業員数：123名
- 主要製品：粉体・液体用レベル計、ベルトコンベヤ保護機器、電動式アクチュエータ、各種制御用機器、システム装置
- URL <http://www.matsushima-m-tech.com/>

株式会社 コーセイジャパン

平成26年6月29日藤原理事が苅田駅のすぐ近く、苅田町役場・日産九州へ行く途中に開発試験設備を持った本社事務所を訪問した。控え目な技術屋の安陵範浩社長から開発・営業等の素晴らしい実績とご苦労をお聞きました。

■会社の沿革と業容

当社は環境方針にある通り照明と省エネ技術を活かした事業を通じて社会に貢献し、中小企業ならではの開発により省エネ80%LED等の製品開発を行っている。創業はS48年(新日鉄・住金等での電気工事業)、開発開始はS64年、水銀灯インバータの開発開始(H8)、特許は日本のみならず米国(H12)、ドイツ(H14)等4件を有する。東京都の省エネ対象機器認定(H23)等、中小企業としては破格の開発・営業範囲が非常に広く、開発資金が必要なため資本金は3500万円と立派な会社である。

当初水銀灯の安定期・水銀灯のインバータから開発を始めたが最近の技術開発競争からこれを利用してLEDの開発に発展させ他社にない80%省エネ・1~2年で回収の水銀灯対応高効率LEDを製品化した。技術・コスト競争力のため韓国・米国・ドイツ・台湾とのメーカーとの開発・生産のコラボレーションもコーセイジャパンの強みである。

■今後の展開

1. 既に東京地区等に販売支援員が相当頑張っていますが更に販売支援強化をしたい。(KTS様ご協力を)
2. 製品・工事総合企業へ、更なる省エネ(LEDとインバータ)開発・コストダウン、国際連携の強化
3. 大型物件の受注と体制づくり(KTS様ご協力を)

■KTSへの期待

KTSの皆様には大変ご協力を賜り誠に有り難く、過当競争が厳しい中営業力不足で、上記のご協力を賜れば幸甚です。



◇会社概要

- 本社：福岡県京都郡苅田町磯浜1-16-9 TEL:093-436-6136
- 代表者：代表取締役 安陵 範浩
- 設立：昭和48年5月
- 資本金：3,500万円
- 従業員：4名
- 事業内容：1.電子式安定器の開発及び製造販売 2.照明器具並びに付随する製品の販売 3.LED照明の開発及び製造販売 4.電気工事(福岡県知事許可(般-22)第94002号)
- URL <http://www2e.biglobe.ne.jp/~neolux/>

■会員・賛助会員の募集(当法人は、会員の会費で運営されております)

企業の第一線をリタイアされた方の第二の人生を地域社会発展のために貢献・恩返ししてみませんか…? 皆さん方が持っておられる知識・技術・経験・人脈は、次の社会に伝えなければならないし、それは義務でもあり権利でもあります。これからが本格的な社会貢献の時期なのです。当NPO法人を利用して、地域社会の潤滑剤として役立てて下さい。

■会員・賛助会員の会費

- ・正会員入会金：5,000円/年会費：5,000円
- ・賛助会員(法人)入会金：10,000円
年会費：20,000円/1口
- (個人)入会金：5,000円
年会費：5,000円/1口

■プラスα：「中小企業における製品開発資金調達について」

(国や地方自治体が行なっている中小企業向け施策「ものづくり助成金・補助金」等を利用していませんか?)

…新製品開発は、企業経営にとって重要な課題の一つです。そこで、皆さん方も良くご存知の助成金・補助金などの利用を考えて見ては如何でしょうか。新年度が4月からスタートしますが、この時期を皮切りに公募が始まります。応募するには即準備に取り掛かってください、公募が始まってからの準備では間に合いません。ただ、書類をつくるのが面倒だと思っている中小企業さんの方も多いのではないかと思います…?その時は、当NPO法人にご相談下さい。

⇒当NPO法人は、約70名のシニア技術者集団です。その中から貴社ニーズに合った12名の審査員が適切にサポート対応します。

編集後記

北九州テクノサポート通信のページを倍増し、内容を充実させました。地域の企業・大学・行政等の活動内容が出来るだけ分かりやすくするよう努力しました。会員並びに地域の中小企業・行政機関の方にも広く「北九州テクノサポート」をご利用下さるようお願い致します。

＜詳細情報は下記ホームページから＞

<http://www.npo-kts.org/>

賛助会員の申し込み受け付中

ホームページから申込用紙をダウンロードして下さい。
技術開発・環境経営の発展を支援します。

NPO法人 北九州テクノサポート

会報「北九州テクノサポート通信Vol.23」

平成26年7月25日 印刷発行

●発行・編集：NPO法人北九州テクノサポート
北九州市戸畑区中原新町2番1号 北九州テクノセンタービル8階806号室
TEL/FAX:093-873-1453 E-mail:npo-kts@npo-kts.org

